



## 持続可能な環境行動都市の 実現に向けて

藤枝市長

北村正平

『環境日本一』を目指す本市は、藤枝の素晴らしい環境を未来に継承するため、2009年12月に“もったいない都市宣言”を行い、様々な環境施策を実施しています。2016年3月には、第2次藤枝市環境基本計画（後期計画）を策定、『“もったいない”を实践する環境行動都市・ふじえだ』を掲げ、この5年間は、生ごみの資源化、下水汚泥を活用した消化ガス発電、屋根貸し事業等を活用した公共施設への太陽光発電設備の率先導入など、先進的な施策を展開してきました。

世界では、2015年9月の国連サミットで、「持続可能な開発目標（SDGs）」が採択され、2016年11月に温室効果ガス削減に関するパリ協定が発効されるなど、地球環境の課題解決に向け、世界各国が共通認識を持ち、取り組んでいるところです。こうした中、2019年12月に発生した新型コロナウイルスは、世界中にまん延し、これまでの価値観や暮らし、働き方などを一変させました。今後は、すべての国が、新型コロナウイルス感染症の影響で減退した経済の復興に努めるとともに、脱炭素社会への移行や、SDGsの達成といったグリーンリカバリーを推進しながら、強靱で持続可能な社会へ変革を目指すこととなります。

このような情勢を踏まえ、本市では、4月から、今後10年間に渡り取り組む、新たな第3次藤枝市環境基本計画を策定しました。ICTなども活用しながら、市民の皆さんや事業者の皆さんと一丸となって、『環境日本一のまち 未来に輝く 持続可能な環境行動都市・ふじえだ』の実現に向け、尽力し、藤枝の素晴らしい環境を次の世代へと引き継いでいきます。

さらに、本市は、国際社会の一員として、地球環境の課題解決に向けても、新たな施策の展開を図っていきます。2月15日には、2050年までに温室効果ガスの排出量実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」を表明、同17日には、循環型社会の構築を目指す「ふじえだ 廃プラスチック・食品ロス ゼロ」を表明しました。市民の皆さんのご理解と、率先行動をお願いします。

結びに、第3次計画の策定にあたり、貴重なご意見、ご提言をお寄せいただいた市民の皆様、様々な分野から審議に参加いただいた関係の皆様方に、心から感謝申し上げます。

令和3年3月